

2023 年度第 2 回「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」

CAR-T 療法や ICI 等の専門薬剤師養成 WG 会議 議事次第

第 2 回 CAR-T 療法や ICI 等の専門薬剤師養成 WG 会議の際に、第 2 回目の WG 会議を Zoom によるオンライン方式で実施するをいたしました。メール会議の結果、特に同方式による会議を実施する必要がある論点はないものと判断し、以下メール会議に切り替えることといたします。

日 時 : 2023 年 11 月 27 日 (月) メール配信

WG 運営責任者 (暫定議長) : 下枝 貞彦 (東京薬科大学)

※メール会議で開催

WG メンバー (東京医科歯科大学事務局より提供された資料に基づく順 敬称略)

東京薬科大学	下枝 貞彦	薬学部 教授
慶應義塾大学	大谷 壽一	病院薬剤学 教授
順天堂大学	木村 利美	薬剤部 部長
東京薬科大学	杉浦 宗敏	薬学部 教授
東海大学	鈴木 優司	医学部附属病院薬剤部 部長
国際医療福祉大学	辻 稔	薬学研究科 教授
東京医科歯科大学	新田 健太郎	薬剤部 薬剤師
慶應義塾大学	中村 智徳	薬学研究科 医療薬学・社会連携センター 教授

(慶應義塾大学 薬学研究科・病態生理学講座 服部 豊 教授が当 WG メンバーをご勇退され、新たに中村 智徳 教授を本 WG にお迎えすることとなりました。)

◎報告事項 (メール会議)

第 1 回 WG 会議にてご議論いただいた議題に関するメール会議の結果を以下にご提示いたします。

1. 「CAR-T 療法や ICI 等の専門薬剤師養成コース」の単位認定の基準

- ① 1 コマ 90 分 (確認試験は別) 12 コマの履修をもって単位認定を行う。
- ② 単位認定に際しては、WebClass 上に構築可能な確認試験を実施し、その成績 (可否) を参照する。なお確認試験の方式は原則講義担当者一任とするが、5 肢選択問題 1 題又は 2 題を想定している。

本件①②について特に異論は寄せられなかったため、単位認定の基準は暫定議長提案の通りといたします。なお、単位認定 (修了書の発行) に必要な履修コマ数は正規課程、インテンシブ共通とします。

2. 今年度のプレ講義提供依頼

- ① 連携校より1コマを限度とし、プレ講義の提供（動画ファイル）が可能か否かご回答願います（2024年1月中を目途にWebClass上に講義アップを希望）。ただし、外部講師に対して謝金を支払う必要がある場合は、予算の制限上、最大で合計6コマまでとなる。なお、講義内容に関してはまず各施設において実施可能な内容を提示いただき、重複等が生じた場合は別途調整するものとする。
- ② プレ講義は、ストック分として次年度の本開講時にも使用予定とする。したがって次年度は年度末までに「CAR-T療法やICI等の専門薬剤師養成コース」に必要な計12コマの講義を用意する。なお計12コマ以上の講義が作成可能である場合は選択講義とし、履修者が適宜計12コマ以上の講義を視聴し確認試験の成績（可否）をもって単位認定を行う。

本件①についてはサンプル講義提供のご要望が複数寄せられました。そこで本年度においては、東京薬科大学で確保しております予算を原資とし、CAR-T療法やICI等の専門薬剤師養成に懸かる講義動画のご作成を外部講師にご依頼いたします。なお一連の講義受講対象者は社会人大学院生ならびにがん専門又はがん認定薬剤師を目指す病院・保険薬局薬剤師を想定しております。

本件②については①を基に次年度に各施設においても講義動画をご作成いただきます。その際に、CAR-T療法やICI専門薬剤師養成のどの部分（分野）を分担するのかわらかにする必要があるとのご指摘がありました。しかしながら、本領域を分野別に細目化し、講義プログラムを複数用意するのは容易ではないと考えます（内容が重複しても構わないので、本領域に関わる医師・薬剤師・看護師等に医療機関ごとにご依頼するのであればハードルは下がるとは思います）。重複を避けプログラムを構築するとすると、まずは基礎と臨床に分けるとして、その後は疾患別とするイメージでしょうか。何か良いお考えがあればご教示願います。

3. 次年度の予算要求

- ① 「CAR-T療法やICI等の専門薬剤師養成WG」に懸かる市民公開講座・シンポジウム・ワークショップの企画案などがあればご提案いただきたい（概略のみで可）。
- ② その他計上したい予算もご提案可とする。

本件①②に関して、特段お申し出がなかったため次年度以降、各施設において同様の検討を行っていただき必要に応じて予算確保等を行います。

なお東海大学の鈴木 優司 先生より「予算を有効に活用し実績を残すためにも薬学会や医療薬学会にてシンポジウムをオーガナイズしてはとを考えます。」とのご意見を頂戴いたしました。本ご提案については次年度実施に向け今後検討させていただきます。

◎協議事項（メール会議）

特になし

上記報告事項に関するご意見がございましたら、2023年12月11日までに下枝宛
(shimoeda@toyaku.ac.jp) にご返信ください。その内容を踏まえ2024年1月中に
2023年度第3回のWG会議を開催することといたします。

以上